

第2回 日本獣医がん学会獣医腫瘍科認定医認定委員会 議事録

日時：2010年1月23日(土) 16時50分～17時20分

場所：大阪科学技術センター 403室

出席者(順不同、敬称略)

石田、藤田、小林、川村、佐藤、武田、牛尾、児玉(和)、児玉(恵)、長田、林、遠藤、北澤、成田、水上、高平、入江、圓尾、杉山、古川、今井、中嶋、三宅、保坂、林宝(合計 25名)

委任者(順不同、敬称略)：信田、代田、堀、生川、井上(合計 5名)

議長：石田卓夫(学会役職：副会長、獣医腫瘍科認定委員会委員長)

書記：林 光児(学会役職：評議員) 北澤由紀子(学会役職：評議員)

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 審議事項

(1) 新認定委員2名の承認(石田)

保坂創史、林宝謙治の2名を承認

(2) 新組閣案

担当見直しおよび新認定委員の担当分担(武田)

新組閣案を承認

(3) その他

1種二次試験について(武田、石田)

A) 4試験室案

- これまでに出題されていない問題を作成するため1種二次試験の山掛けできる状態である
- また学術レベル維持をするために重箱の隅をつつく問題になる傾向にあり、これは試験の本質からそれてしまっている
- 解決方法として試験問題を4問(4試験室)とし、獣医臨床の広い範囲から出題するというのが狙い
- 新案のシミュレーション説明(武田)
  - 時間：従来の3試験室より最大20分超過ですむため問題ない
  - 予算：問題ない
- 4試験室案は特に問題がなければ導入する

B) 面接人数の限界(24名が限界)

- 解決方法案：面接人数調整のため試験方法の変更
- 受験者数限界の問題は再度検討を続ける

C) 日本で唯一米国の腫瘍専門医の資格取得者である小林先生には試験官を依頼(委員長見解)

結論：以上を賛成多数で承認

認定医更新条件の追加(藤田)

A) 認定医1種更新条件に、学術論文の提出を追加する

- 本学会雑誌の充実、認定医のレベル維持・スキルアップにつながる
- 一般開業医に対する論文指導方法を含め、中、長期的に検討が必要、今後の審議課題とする

結論：次の認定委員会を目処にメールにて審議し、議論を煮詰め具体化していく

## 2. 報告事項

### (1) 2種試験実施要項(長田)

#### 第1回認定医2種試験予定

- 実施日時：2010年7月11日(日) 本会終了後
- 会場：麻布大学

問題形式の変更：5択5問(50点)、穴埋め4問(12~15点)、記述1問(20点)

- 計100点8科目 総合800点満点とする
- 地雷問題は問題作成後、石田委員長に設定してもらう
- 地雷問題を間違えた場合は、他の点数に関係なく不合格

現在認定医2種取得者数 198名 試験合格者 176名、審査合格者 22名

### (2) 1種一次試験実施要項(成田)

#### 第9回1種一次試験予定

- 実施日時：2010年7月11日(日) 本会終了後
- 会場：麻布大学

現在合格者数 40名(認定医1種除く)

### (3) 第1回1種二次試験結果報告(武田)

実施日：2009年10月25日(日)

会場：麻布大学獣医臨床センター内動物病院

受験者数 22名 欠席者 2名

#### 試験結果

- 最高得点：244.30点(300点満点)
- 最低得点：144.30点(300点満点)
- 平均得点：175.87点(300点満点)
- 標準偏差：24.98点
- 厳正なる審議の結果、合格者 2名

### (4) 教育講演報告(佐藤)

#### 新認定医手帳

- 第1回本会での総売上数 438冊
- 認定医1種 24冊 種認定医 96冊 一般会員 318冊

以上